



コロナ禍における学校再開後の取組と積極的な企業誘致に向けた取組について

松本 隆志 議員

学校再開後の取組や課題

質問 授業と併用して活用するスタディサプリの効果と課題について伺います。

答 効率的な家庭学習ができるよう補充学習や宿題配信での活用をしています。また、個別配信機能により、つまずきのある子どもたちへ個別最適化した学習支援

が可能となります。課題は学校の取組格差を埋めることですが、有効な取組内容を学校間で共有し、学力向上に資する教材となるようサポートしていきます。

質問 長期間の学校休業で不登校になる児童生徒の増加が懸念されますが、現状と対応について伺います。

答 30日以上欠席は、本年10月現在85名となり、前年に比較して9名増加しています。スクールカウンセラーによる相談件数が大幅に増加していますが、教職員が児童生徒の様子をていねいに把握し、保護者の悩みに寄り添いながら対応した結果と考えています。

要望 安心して学校生活を送り、学びができるよう継続した取組をお願いします。

質問 積極的な企業誘致の取組

業からの引き合い状況や進出動向について伺います。

答 ①アクセス性がよい②災害が少ない③埼玉県側より用地が安価との理由で、コロナ禍ですが例年より多くの引き合いが来ています。

質問 現在、大島地区の団地開発に取り組んでいます。が、この地区以外での新たな団地開発の考えや、民間企業と連携した開発手法の導入について伺います。

ない状況ですが、企業誘致のみならず、既存企業の拡張や移転の要望を踏まえ、雇用の創出や市の自主財源確保につなげるべく、新規団地を造成していきます。また、開発期間の短縮を図る上で、民間事業者の活力も必要と認識しています。

要望 地域特性を踏まえた戦略的な企業誘致を進めるとともに、館林インターチェンジ周辺の整備開発も含めて、積極的に取り組んでいただくよう要望します。



新型コロナウイルス感染症重点対策・関連施策について問う

今野 郷士 議員

インフルエンザ流行期における対策は

質問 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策とインフルエンザの流行を想定した対応について伺います。

答 本市における感染症対策の基本は、①医療崩壊を起さないこと、②重症化しやすい高齢者施設等で

のクラスター化を発生させないこと、③市民が冷静な行動を取れるように正確な情報発信を行うことの3点に力を入れてきました。また、インフルエンザの流行を想定した対応については、

館林地域外来・検査センターにおける新型コロナウイルスのPCR検査に加え、

季節性インフルエンザの検査も行っています。今後も市長緊急メッセージなどを発信し、注意喚起を図っていきますので、市民の皆様も粘り強く対応していただくようお願いいたします。

市内事業者への支援延長は

質問 市内事業者への支援を延長する考えを伺います。

答 今後もコロナ禍の状況を踏まえ、国や県の動向を注視しながら、各分野の事業者への聞き取り調査などを継続し、状況把握に努

めるなど、政策に反映していきたいと考えています。

要望

どのようないことがあっても、各事業者の現状や生の声を聞き漏らすことがないように調査していただくとともに、だれも置きざりにすることなく、多くの事業者の皆さんを支援していただくよう要望します。

質問 ウイズコロナという状態が当面の間続くと考えられますが、本市における方針・対策について、市長の考え方を伺います。

答 今後の感染状況や社会状況を見極め、感染症対策をはじめとする経済対策や生活支援対策など、有効な施策を政策パッケージ第4弾として取りまとめたいと思います。また、感染のリスクは誰もが抱えているものですが、感染されてしまった皆様に対して心からお見舞いを申しあげるとともに、今後、感染者の方々への誹謗中傷が起きないように人権的な面からも取り組んでいきたいと考えます。